

■インタビュー interview

南部町に移住した理由

南部町に移住しようと思ったきっかけや、実際に住んでみて感じたことなど、町内で起業された方、町内に就職をされた方、退職後の居住地に南部町を選んだ方、さまざまな立場の3人の移住者にお話を聞きました。

なんぶで暮らす

団塊の世代の退職や、田舎暮らしに対する意識の変化に伴い、地方に移住・定住を希望する人が増えてきました。こうした状況の中、南部町でも移住・定住へ向けた取り組みを行っています。

移住定住への意識の変化

交通網の整備やインターネットの普及によって、以前よりも簡単に人や情報が都市と地方を行き来出来るようになり、都市圏の人にとって、地方での生活が身近になりました。

平成17年の「都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査」では、「平日は都会で、休日を田舎で過ごしたい」という願望が「ある」と答えた人の割合が37.6%、田舎への定住願望が「ある」と答えた人の割合が20.6%となりました。この結果から、価値観の多様化とともに、田舎に住みたいと考える人が増えてきたと考えられます。

地域にとっての移住

南部町では高齢者が人口の3割を占め、空き家や耕作放棄地も増えて

つあります。このような高齢化や少子化に伴う人口の減少に町の中だけで対応するには限界があります。団塊の世代の退職を迎え、この世代の移住を促進するために、南部町では空き家情報の収集や情報の発信などの取り組みを行っています。

地域の活力を維持するためには、新しい人材を積極的に受け入れ、共に地域づくりを行うことが必要となっています。南部町に移り住んできた人たちは、南部町で暮らすことに魅力を見つけて住んでいます。地域に住み続けている人にとっては「当たり前」と思っている事が、他から見ると大きな魅力となっている事もあります。このような部分に光を当てること、地域の良さを認識し、より「ここで暮らしたい、住み続けたい」と思える地域づくりができるのではないのでしょうか。

自然を満喫できる自然派志向の人々の憧れの土地



ノームの糸車代表

よしだ たかよ
吉田 尚代さん

(池野)

- 移住前の居住地 鳥取県米子市
- 移住年 平成10年
- 家族 5人

南部町に来て驚いたこと

地域の繋がりが強く、地元が集まりや飲み会が多くて驚きました。町に希望すること

私は障害者福祉の仕事に携わっていますので、やはり障害者が地域でいきいきと生活を楽しめる町であってほしいと思っています。

そのためには障害者を支援する者と町との連携が必要だと思っていますので、よろしく願っています。

とっとり花回廊という観光資源があるので、花回廊に来られるお客さんに南部町の中で自然を満喫してもらえらる体験型のプログラムやイベント、遊歩道などがあればと思います。

南部町にはいろいろな資源があるので、それをもっと生かせたいと思います。

南部町の良いところ

南部町はとても自然の豊かな所でここから見る大山は最高で自然の中で暮らしたいという思いを持つ人たちの憧れの土地です。

南部町の課題

公共交通が不便なので、車を運転できない方が暮らすのは大変だと思います。

南部町

■ 定住促進奨励金

企画政策課 TEL 66・31113

町内に新たに土地および住宅を取得された方を対象に、5年間固定資産税相当額を交付します。

平成12年から行われ、延べ149件の申請があります。

■ 空き家物件情報

企画政策課 TEL 66・31113

空き家を貸したい・売りたいという人を、借りたい・買いたい人へ紹介します。

南部町で暮らすに当たって、まず必要になるのが「家」です。現在、空き家をお持ちの方で、貸したい・売りたいと考えている方は、ぜひ情報をお寄せください。

■ 定期借地権付宅地分譲

(福里団地)

企画政策課 TEL 66・31113

土地を所有せず、60年間土地を利用する権利を購入できます。

また、土地を買い取り、所有権への変更も可能です。

支援を紹介します

■ 定年帰農営農セミナー

担い手育成総合支援協議会

TEL 64・3783

農業に取り組みたいと考える住民または居住予定の方を対象に農業講座を行います。

鳥取県

■ 移住定住サポートセンター

TEL 0120・841558

<http://www.pref.tottori.lg.jp/jiu/>

鳥取県で暮らしてみたい、働いてみたい、農業に取り組みたいなど、鳥取県内への移住定住を希望される方からの相談を受け付けます。

○ 鳥取県U・J・ターン相談会
日時/7月12日(土)
午前11時~午後4時
(受付終了・午後3時30分)

会場/大阪歴史博物館4階
※くわしくは移住定住サポートセンターへお問い合わせください。

■ 鳥取県農業担い手育成基金

TEL 0857・267276

農業に関心のある方、農業をこれから始めたい方の相談を受け付けます。

人柄が良く、地元での活動が盛んな市山が自分に合っていた



南部町社会福祉協議会

かもぎ ひろし
鴨木 弘さん

(市山)

- 移住前の居住地
ニュージーランド
- 移住年
平成10年
- 家族
4人

南部町を知ったきっかけ

ニュージーランドで酪農を営んでおり、帰国後住むところを探している時に、妻の親戚から市山の紹介を受けました。

南部町に移住した理由

保育園が近く、周囲の環境も気に入って移住を決めました。

南部町の良いところ

町外から来た者でも温かく受け入れてくれるところ。10年間南部町に住み続けられたのは、人柄が良く、地元での活動が盛んな市山が自分に合っていたからだと思えます。

南部町の課題

南部町には、素晴らしい伝統行事や芸能などがありますが、それらに興味を持つ若い人が少ないと感じます。

町に希望すること

車の運転ができない方や子どもの移動手段が少ないので、交通の便がもっと良くなればいいと思います。

また、子どもたちが屋外で泥んこになって自由に安心して遊ぶことができる、プレーパークのような遊び場の整備や、子どもも大人も安心して散策ができるような里山の整備が必要だと思います。町内には、それにふさわしい里山があちらこちらにあります。

ただ、これは町への希望というよりも、いつか自分で取り組んでみたいと思っていることです。いずれにしても、一人でできることではないので、仲間と一緒にやりたいですね。

他から見るとたくさんさんの宝が眠っている場所です



退職後南部町に移住した

たてみ まさゆき
立見 正行さん
(赤谷)

- 移住前の居住地
岐阜県中津川市
- 移住年
平成19年
- 家族
2人

南部町を知ったきっかけ

退職後に住む場所を探していた時に、インターネットで南部町の物件を見つけたことがきっかけです。

南部町に移住した理由

地域と繋がった医療や福祉、自然が豊かですぐに市へ出ることもできる環境が気に入ったのと、家の下見に訪れた時に接した人の温かみに惹かれました。

南部町の良いところ

温かく迎え入れてもらえ、気遣いもいただき、移住してからも溶け込みやすくしていただきました。新鮮な食材も魅力です。

南部町の課題

現状では、働く場所が少なく、若い人が住み続けるのは難しいと感じています。

南部町に来て驚いたこと

地域の役員が選挙で決められることに驚きました。以前に住んでいた所では回り番で決められていたので。

町に希望すること

今は自分達が車を運転することができるので、特に不便を感じていませんが、車が運転できなくなると不便になるだろうと思っています。バス停が遠く、子どもや高齢者など買い物や通院・通学が困難なので、何かうまい方法があればと思います。

地元の方は「何もない所」とよく言われますが、他から見るとたくさんさんの宝が眠っている場所です。

すぐれた生活環境に魅せられて、人や企業が集まる可能性もあると思います。